

習志野市こども発達支援施策の取り組みについて

1. はじめに

本市の発達支援施策の取り組みは、平成25年に設置された習志野市市民協働こども発達支援推進協議会(以下「協議会」という。)を中心として、「ソーシャルインクルージョン」の理念に基づき総合的に協議を進めてまいりました。

平成28年、発達障がい者の支援の一層の充実を図るため、「発達障害者支援法」が改正され、個々の特性に配慮した切れ目のない支援の実施、家族なども含めたきめ細やかな支援の実施、地域における支援体制の構築などが新たに追加されました。

本市としても子どもとその家族が地域の身近な場所で切れ目のない支援が受けられるように、地域の特性を踏まえた支援体制の強化が必要となっています。

2. これまでの取り組み

本協議会及び発達支援サポートネットワーク会議ではソーシャルインクルージョン推進体制の構築を目指し発達支援施策について協議を進めてまいりました。令和2年度からは、「子ども・子育て支援事業計画」に基づいた発達支援施策の推進が追加されております。

近年は、主に2点の議題について重点的に協議を重ねてまいりました。1点目は、「障がい理解を深めていくための取り組み」です。こちらは庁内各部署の啓発活動や本協議会委員の有志で結成された「きらっといっぽの会」の取り組みについて協議を行いました。2点目は、「ライフサポートファイルの取り組み」です。ライフサポートファイルは、令和2年度から運用を開始し、様々な御意見を伺いながら周知活動や内容改善等の取り組みを実施してまいりました。

3. 令和6年度の取り組みとその後の取り組み

令和6年度は今後の有効な発達支援施策づくりに向けた作業として、現状の発達支援に関する施策や事業を視覚化したいと考えております。具体的には、資料10の「習志野市こども発達支援施策一覧表(案)」の作成を行います。この一覧表を作成することで見えてくる取り組むべき分野や充実を必要とする課題を抽出し施策の推進に向け活用していきたいと考えております。

早期発見、早期支援ができる体制作りや各ライフステージの応じたきめ細やかな支援を行うため、まずは各課の発達支援に関する事業を洗い出し、発達支援体制を確認することで庁内連携体制構築を目指してまいります。